

製品名: TEF-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18774

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	TEAD1
別名	TEAD1; TCF13; TEF1; Transcriptional enhancer factor TEF-1; NTEF-1; Protein GT-IIC; TEA domain family member 1; TEAD-1; Transcription factor 13; TCF-13
遺伝子 ID	7003.0
SwissProt ID	P28347
免疫原	TEF-1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110

背景

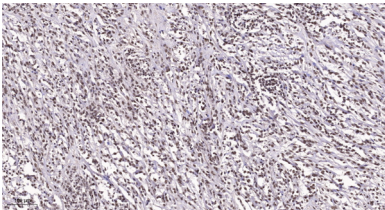
この遺伝子は、TEA/ATTS ドメインファミリーに属する普遍的な転写エンハンサー因子をコードしています。このタンパク質は、様々

な遺伝子の転写活性化を誘導し、胎盤細胞においては転写抑制因子としても機能します。この遺伝子の変異は、スヴェインソン網脈絡膜萎縮症を引き起こします。追加の転写バリエーションが報告されていますが、それらの全長の性質は実験的に検証されていません。[RefSeq 提供、2010年5月]、疾患: TEAD1 の欠陥は、スヴェインソン網脈絡膜萎縮症 (SCRA) [MIM:108985]の原因です。SCRA は、円形萎縮症 (AA) または螺旋状乳頭周囲網脈絡膜変性症 (HPCD) としても知られています。SCRA は、視神経乳頭から網膜および脈絡膜に放射状に広がる対称性の病変を特徴とする。機能: SPH および GT-IIIC の「エンハンサー」 (5'-GTGGAATGT-3') に特異的かつ協調的に結合し、生体内で細胞特異的に転写を活性化する。この活性化機能は、細胞特異的転写中間因子 (TIF) を介した制限的な活性化機構であると考えられる。心臓発生に関与する。M-CAT モチーフに結合する。類似性: TEA DNA 結合ドメインを1つ含む。組織特異性: 骨格筋で優先的に発現する。脾臓、胎盤、心臓では低濃度で発現する。、

研究分野

幹細胞経路; タンパク質アセチル化

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸間質腫瘍の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。